

「不動穴洞穴出土の 南海産貝類アクセサリー」

昭和48年3月、当時、県立桐生女子高校の教諭だった宮崎重雄氏を中心に梅田町にある不動穴洞穴の発掘調査が行われました。

洞穴からは2500点を超える哺乳類の化石や縄文時代の土器・石器に混ざって、イモガイやツノガイなどの南海の海域で採集される貝類を使ったアクセサリー、アカエイ製の刺突具、ハイガイ製の腕輪、骨製の

針などが出土しました。

イモガイとツノガイにタカラガイを加えた三種の南海産貝製品は、今から8000年前、中部高地で押型文土器を使う人々によって生み出されました。南海産貝製品は、中部高地から紀伊半島、瀬戸内、四国へと続く押型文土器の波及ルートで伝えられました。南限は佐賀県の東名遺跡、北限は桐生の不動穴洞穴で

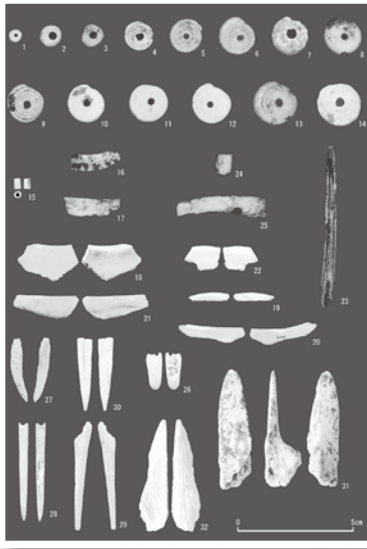
すが、これより北には出土した例がありません。このことは、北の地域では押型文土器文化を受け入れたものの、その文化が定着しなかったなどの理由があるのかもしれないが、詳細は解明されていません。

不動穴洞穴の調査で出土した南海産貝製品は、私たちが暮らす地域が中部高地と共通の文化圏であったことのほか、さまざまな海産製品は海浜地域との頻繁な交流があったことを物語っています。

問い合わせ 市史編さん室
(☎473335)



▲不動穴洞穴全景
(昭和48年撮影)



▲不動穴洞穴出土の貝製品
と歯牙骨角製品

パチリいい顔 桐生っ子

市内に居住する3歳まで(申し込み時)の桐生っ子を募集します。

申し込み = Eメール (miryoku@city.kiryu.lg.jp) にお子さんの氏名(ふりがな)、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課(☎内線505)へ。



いしはら とわ
石原 朋和ちゃん
4歳2か月
(菱町二丁目)



いしはら あんじゅ
石原 杏珠ちゃん
2歳
(菱町二丁目)



あざみ しぐれ
阿佐見 紫呉ちゃん
2歳2か月
(新里町野)